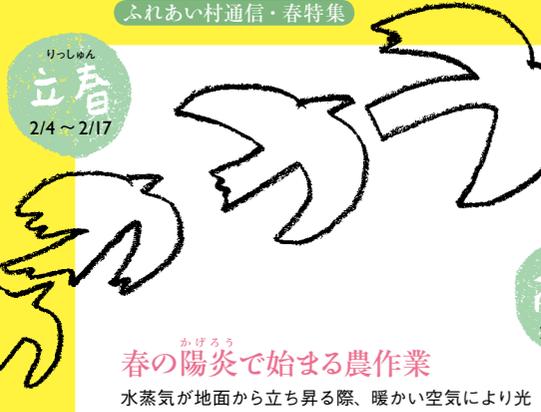


立春
2/4～2/17



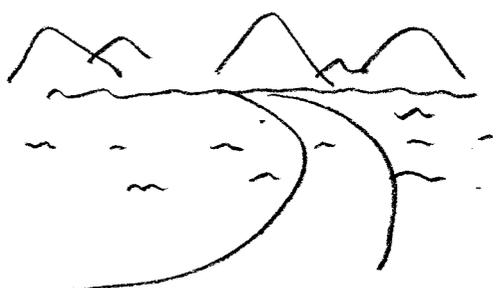
冬鳥帰るは、春の始まり
冬鳥が空高く飛んでいくのは北国に帰るため、間もなく春が来る合図。

雨水
2/18～3/4



春の陽炎で始まる農作業

水蒸気が地面から立ち昇る際、暖かい空気により光が不規則に屈折する現象。春の陽炎は田畑が温まる予兆で、畑を耕しても土の団粒構造を壊す心配がない。



梅の花が横を向いたら豊作

梅の花が下を向く年は、平均して雨量、曇り空が多く、農作物は日照不足で不作になりやすい。逆に上を向けば、日照が多く水不足で害虫の心配がある。一番良いのは、横向きに一度に咲いて一度に散る年で、豊作とされる。

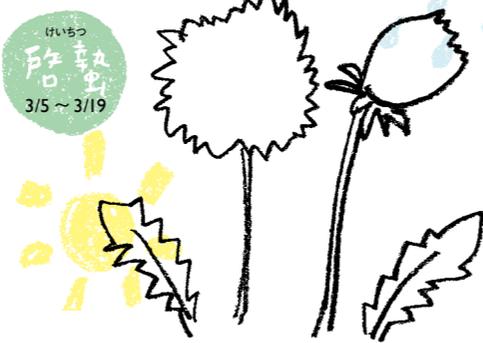
ボケが重なって咲いたら雨多し

ボケの花が、半分ほど開花した頃に重なり合って咲く年は平年より雨が多く、逆に伸びた枝に花が多い年は台風も少なく、安定した天気になることが多い。

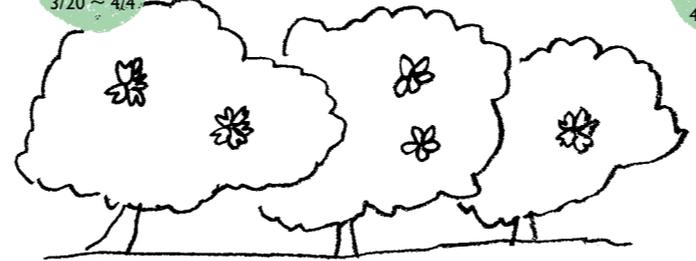


タンポポもお日様とにらめっこ

タンポポが太陽の方に向いて咲くと晴天。逆にしばみ加減でそっぽを向いているときは雨になりやすい。



春分
3/20～4/4



コブシの開花はサトイモの植え付け時期

コブシの開花はサトイモの植え付け時期の目安。また、コブシの花がいっせいに咲くと豊作になるとも言われている。

こくろ
春雨
4/20～5/4

ツバメの低空飛行は雨

雨の前はツバメの餌となる虫の体や羽が湿り、高く飛べない。このため虫を負うツバメも低空飛行する。

せいめい
清明
4/5～4/19



雨の前はテントウムシも落ち着けず

テントウムシがチューリップ、ヨモギの根などの間を忙しく行き来するときは雨になりやすい。



朝虹は雨、夕虹は晴れを呼ぶ

朝虹は雨を呼ぶので、降る前に作業を終わらせないといけな。一方、夕虹は翌日よく晴れることが多い。

あーした天気になあれ!

身近な自然が知らせる天気予報

～地域の天気を読んで、野菜作りに役立てよう～

野菜作りは自然が相手なので、効率よく進めるためには天気を読むことが大切です。自分で予測する天気は、人工衛星が宇宙から教える全国天気予報とは一味違った、野菜作りに役立つおもしろい天気予報になりますよ!

*日付は新暦で表示してあります。

何気なく見過ごしてきた動植物の活動と空の移ろいに注目して、自分で天気を予測してみませんか。このように自然に敏感になり天気を予測することを“観天望氣”と言いますが、作物は自分で天気の変化に合わせて生きているので、身近な自然が知らせる天気予報は野菜作りに役立つ重要な情報となります。今回は、春の自然の変化と天気に関する言い伝えを見ていきましょう。

春の訪れはいつ頃でしょうか。「二十四節気」*1の「立春」の頃にゆらゆら立ち上る陽炎は農作業を始める合図です。この頃に吹く暖かい南風「春一番」*2は、実は春の入り口を作るだけの風で、寒気を伴うため翌日には気温がグッと下がります。一方、春を告げると昔から心待ちにされていたのは「雨水」の頃の「東風」*3。東風が吹く頃に咲く梅の花の向きで、その年の農作物の具合が

予測できるとも言われています。『春雨』の頃は、春雨が穀物を潤し芽が出ます。この時期は、立春から数えて88日目の「八十八夜」*4(5/2頃)に当たります。「八十八夜の別れ霜」という言い伝えのように、農家の方は遅霜に悩まされますが、せっかく新芽を出した作物を守るために、天気を見極めることが大切です。例えば、雨上がり、星がまばゆく輝く夜は、朝方冷えて凍りつく

ことがあるので寒冷紗を利用しましょう。虫が異常に群れて舞う時や、アリが激しく移動する時は長雨か大雨になることが多いので、植え付けは少し待ってみましょう。むさしの農業ふれあい村でも、生命力溢れる春は農作業に大忙し。今回紹介した民間天気予報などを参考に、自然に敏感になり地域の天気を読んで、野菜作りに役立ててみましょう。

*1) 二十四節気は中国伝来のため、日本の自然とは一か月ほどずれがある。例えば、「啓蟄」は新暦の場合3月上旬だが、虫が活発に動くのは一日の最高気温が15℃前後になる4月中旬頃(関東地方)。
*2) 冬は大陸の高気圧が日本列島の上空に張り出し、冷たい空気を送る。この高気圧が弱まった時、日本海に低気圧が発達することがあり、その低気圧に向かって南の海上から吹く暖かく強い南風が「春一番」。

*3) 西高東低の冬型の気圧配置が緩むと、北風に代わって吹く風が「東風」。菅原道真も配流された大宰府で「東風吹かばにほひおこせよ梅の花あるじなして春忘れそ(春風が吹くようになったら香りをその風に乘せて送っておくれ。主人がいなくなったとしても春を忘れないでくれ。)と読んだ。
*4) 日本人の生活体験に合わせて作られた雑節の一つで、「八十八夜」は農家の方の注意喚起のために特別に暦に記載された。

武蔵野の農業歳時記

武蔵野にのみがえった麦踏み

冬の歳時記である「麦踏み」が武蔵野でも行われているのをご存じでしょうか? 麦を栽培していた頃は、冬になるとあちこちの麦畑でこの光景が見られたと言われます。麦踏みは寒い冬の間に麦の幼葉を踏みつけることによって、苗の徒長生育を抑え、根の張りを良くし、分蘖*を促進させる役割を果たす大事な農作業でした。大人も腕を後ろに組み1、2、1、2とリズムカルに踏んでいました。



2月の麦踏みの様子

今年で5年目になる武蔵野での「武蔵野地粉うどん」のもととなる麦栽培は、JAや商工会議所をはじめ今では農家の方とともに、ふれあい村だけでなく近くの小学校2・3年生も一緒に冬の行事となりました。麦踏みは雪の後は天候に左右されるのですが、今年は2月に入ってからお天気のいい日に3回に渡って行なわれました。

*分蘖=茎の根に近い節から新しく茎が発生すること

齋藤村長が教える【菜園まめ知識】

連作障害に気をつけた栽培計画

同じ場所で同じ科の野菜を続けて栽培すると、「連作障害」がでることはご存知かと思いますが、その原因の多くは、土中の病原菌にあります。病原菌は野菜により様々な種類があり、密度によっても違います。また、土中の害虫や、土の成分バランスの崩れによることもあります。これらを防ぐため、以下

のように各野菜に必要な年数は連作しないよう心がけ、やむを得ないときは接ぎ木苗を使うことを検討しましょう。

連作を避ける目安		
障害が少ない	カボチャ、サトイモ、タマネギ	
	ニンジン、ダイコン	
1年	ネギ、ホウレンソウ、ミツバ、レタス	
2年	カブ、オクラ、キャベツ、ジャガイモ	
3～4年	キュウリ、サトイモ、トマト、ピーマン	
5年	エンドウ、ゴボウ、スイカ、ショウガ	

主な野菜と連作障害

ナス科	トマト、ピーマン	青枯病
	ナス	半身萎凋病
ウリ科	キュウリ、スイカ	ツル枯れ病
アブラナ科	ダイコン以外	根コブ病
マメ科	エンドウ、ソラマメ	立ち枯れ病

齋藤瑞枝
武蔵野農業ふれあい村代表、緑化学会会員、環境情報センター会員、元武蔵野市農業振興基本計画見直し検討委員

参考資料 ・「日本のいきもの暦」財団法人日本生態系協会 アノニマ・スタジオ
・「里山の言い伝え～お天気小母さんの十二月～」鈴木二三子 嶋中書店
・「半井小絵のお天気彩時記」半井小絵 かんき出版
・「自然農業で防ぐ病気と害虫」古賀綱行 農文協

ラディッシュは別名「二十日大根」というとおり、
短期間で収穫でき、小ぶりなのでプランター栽培もおすすめ。
一見カブに似ていますが、ピリッ辛いダイコンの仲間です。
みずみずしいラディッシュは、栄養豊富な緑の葉ごとお召し上がりください。

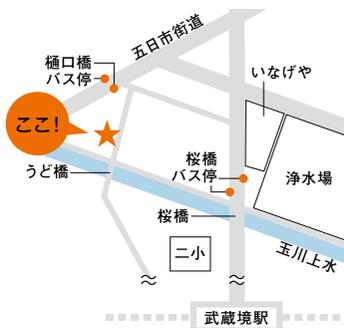
むさしの 農業ふれあい村 通信 vol.8

通算 no.38 / 2012 春号

企画・監修 齋藤瑞枝
編集 北地智子
デザイン 梁木明子 <http://yanaki.jimdo.com>
発行 NPO法人武蔵野農業ふれあい村
<http://www.agrifureai.com/>
info@agrifureai.com
印刷・協賛 (株)文伸
協賛 武蔵野市緑化環境センター、武蔵野市商工会議所
JA東京むさし、ハウス食品(株)、
サントリーフラワーズ(株)、日本IBM(株)

© 2010 NPO法人武蔵野農業ふれあい村

当NPO法人は、実際行う農業耕作体験とおして、
農と食の問題を考え、「自然と人の関わり」、「人と人」、「人と地域社会」をつないで
次世代に伝えていく活動をしています。



農業塾は農業ふれあい公園でやっています

NPO法人武蔵野農業ふれあい村を応援して下さるスポンサー、
むさしの農業ふれあい村通信を置いて下さる施設、お店を募集しております。
問合せ先 info@agrifureai.com

文伸
BUN-SHIN

「文伸」も
応援しています

NPO 法人むさしの農業ふれあい村の活動

一年間ありがとう。また、春を迎えましょう。

色々あった一年、いかがでしたか。
今年は農業を通して、一年を過ごせたことに今まで以上に感謝をしました。
そして、野菜の成長や恵みを感じ、ますます自然に敬意を払いました。
また、新たな気持ちで春を迎えましょう。



①農業体験教室4期生の修了式
②収穫野菜で沢庵づくり
③最後に耕運機かけ
④4期生、スタッフの懇親会

第4期生の体験教室が、1月28日をも
ちまして無事に終了しました。今年度は、
3.11の東日本大震災が開講直前に起こり、
困惑と不安のうちに幕が開けました。市
の方でも空気中の放射線量測定をしてくだ
さり、公園では平常通りに体験教室が開
催されました。2組のキャンセルがで
ましたが、残りのご家族は野菜作りを
楽しみ、自作の収穫物に舌鼓を打ちま
した。
さらに今年度は、講習会の日が雨にた
たられることが多かったものの、参加
者の皆さんは熱心に講習を受けていま
した。また

夏は夏で猛暑が続き、ニンジンの種ま
き後は毎日水やりに畑に足を運んでいま
した。そんな皆さんの努力が実り、沢
山の収穫を得ることができました。今
年もまた多くの受講生の皆さんから
「1年で辞めたくない」との言葉を
いただき、市の緑化環境センター
の方にその思いを伝え、修了して
いかれました。そして18名の方が
研修生として当団体に入り、来年度
も様々な形で当団体の活動に参加
していきます。

農業体験教室事業 2012 年間スケジュール

今年も、NPOむさしの農業ふれあい村
では、たくさんの皆様楽しんでいただ
けるイベントを開催します。

【農業ふれあい公園(東京都武蔵野市)】

●「農業塾」4月～1月 定員80組
隔週全20回の講習会と、年3回懇親
会、年4回の食材セミナーがあります。
毎年2月の市報で一般公募しています。
卒業生の数名には2年間の研修制
度もあります。

●「キッズ野菜クラブ」5月～7月
定員15組
5～6回の野菜作り体験と、収穫物
でカレーを作り家族を招待します。
武蔵野市内小学校で募集します(3
年生以上)。

●「障害者体験学習」9月～11月
定員5名程度
5～6回の体験と、秋の収穫祭で
収穫物による料理を出品します。
武蔵野福祉作業所の「やさしい食
堂『七福』」と共催になります。

●「秋の収穫祭」11月 自由参加
秋の豊穡と収穫を祝うイベント。
収穫物や手作りケーキ等を販売し
ます。



●「農のわいわいサロン」
毎週水曜日午後 自由参加
公園内にオープン。農について語
りましょう。

【新座農場(埼玉県新座市)】
●「芋いも畑」市民の方参加募集
ふれあい村研修生がサントリー苗
のモニター栽培を行っている新座
農場の一角で「芋いも畑」をつ
くります。NPO法人武蔵野農
業ふれあい村友の会会員優先。

【その他】
●ハウス「食と農と環境の体験教
室」5月～10月(月1回全5回) 定
員15家族
詳細はハウス食品ホームページ
にて公募します。

●「麦プロジェクト」6月～11月
武蔵野市内で麦を作り「武蔵野
地粉うどん」を作ります。麦刈・
脱穀(6月)、うどん打ち(9月)、
ご馳走フェスタ(11月)「武蔵
野逸品市」に参加。

※スケジュールの内容は変更され
る場合がございます。予めご了承
ください。
※イベントの詳細や、NPO法人
武蔵野農業ふれあい村友の会登
録については、ふれあい村のHP
(<http://www.agrifureai.com/>) または、
村の掲示板にてお知らせいた
します。

インターンシップ 研修生報告

今年度初めて実施した「ECO-TOP
プログラム※」のインターンシ
ップ生による成果発表が、11
月27日東京都庁にて行われま
した。

※東京都認定の自然環境保
全のための人材育成プログラ
ム



農業って楽しい! 農や食を考える

むさしの 農業ふれあい村 通信 vol.8



特集

あーした天気になあれ!

身近な自然が知らせる天気予報

～地域の天気を読んで、野菜作りに役立てよう～

NPO 法人むさしの農業ふれあい村

季刊
春
2012